

## 2026年4月23日所長会見 所感

- 本日は私から2点お伝えいたします。
- 1点目は、6号機の営業運転についてです。資料1をご覧ください。
- 6号機については、先週16日に、最後の使用前事業者検査である総合負荷性能検査を実施し、その後、原子力規制委員会より確認証等を受領のうえ、営業運転開始となりました。
- まずは、柏崎市、刈羽村をはじめとする新潟県民のみなさまに、この地で我々が発電事業を運営させていただいていることについて、改めて感謝申し上げます。
- また、これまで尽力いただいた協力企業のみなさま、そして社員、道半ばで定年を迎えられた方々含めて、感謝するところです。
- 先日もお話しましたが、6号機の営業運転開始はゴールではなく、ここからがスタートです。まずは、次回の定期検査開始となる2027年4月16日まで運転を継続する計画です。
- 当社は1F事故を起こした当事者であり、その反省と教訓を決して忘れてはなりません。そのことを胸に刻み、地域の皆さまにご安心いただけるよう、安全を最優先に安定運転を行ってまいります。

- 引き続き、プラントの各系統設備がしっかり動いているか、変化がないかモニタリングし、パラメータの小さな変化から兆候をつかみ、大きな不具合に至らないよう関係者で協議のうえ、適切に対処してまいります。
- そのような取り組みを一つひとつ積み重ねて、行動と実績で示すとともに、発電所の状況については、地域のみなさまにわかりやすく迅速に情報発信してまいります。
- 2点目は、新入社員の配属についてです。
- 4月から当発電所に、78名の明るく闊達な新入社員が着任しました。新潟県の学校を卒業した社員は25名で、そのうち、柏崎市・刈羽村の学校を卒業した社員は19名です。
- 私から新入社員の皆さんに、
  - ・6号機が14年ぶりに運転し、一般家庭の約45万世帯の電力需要に貢献できること
  - ・このプラントがしっかり稼働することで、福島への責任の貫徹と復興の貢献につながること
  - ・この発電所では信頼関係構築を最も重視しており、そのためには、まず積極的な挨拶をしてほしいことなどを伝えました。
- 現在新入社員は、机上での集合研修に取り組んでいる最中です。
- 集合研修では、原子力発電所の仕組みや、設備の概要といった基礎的な知識から、立地の経緯や発電所の現在の状況について学び、その後、技術系の社員は運転部門にて研修を行う予定です。
- 今後も地域を愛し、地域に愛される発電所を目指す仲間として、まずは、基礎的なことをしっかりと学んでいただきたいと思います。

- そして、家族や周囲の友人、地域の皆さまに発電所の取り組みについて、しっかりと説明できる人財になってほしいと思います。
  
- 本日、私からは以上です。